

はじめに

生命の新陳代謝には、腎臓による血中老廃物の除去と浄化が不可欠な様に、設備の安全性には「排気と排水」が最重要任務だ。この事はレベル7を惹起した空前の福島原発事故を引用する迄もなく、重要な設備の安全管理の根幹が「排気と排水」である事を如実に証明している。更に二百余名の一酸化炭素中毒死(湯沸器死亡事故)の大惨事も、換気不良による排気不全が、致命的原因であった事はいうまでもない。従って「排気の不全性」という戦慄すべき危険性と重要性は、いくら強調してもしすぎる事はないという基本認識こそが、安全管理の基本なのだ。

想えば設備の排気不全と同様に、一切の生命の生死と運命も、全く同じ鉄則に貫かれている。即ち、如何なる権勢富貴も、如何なる声望栄誉と雖も、秘やかな「continence」(健全な排泄作用)なくしては、矜持も尊厳も損なわれ、遂には、あらまほしき「品位も威厳も価値」も、滅しゆく様に如何なる美貌も俊英も、快眠快泄なくしては、人生の失望悲歎やみ難く、汚醜衰亡、止め得ない!!

従って、水と空気の様に「排気と排水」こそが不可欠なのだ。故に錯綜した現実の「給気と排気」の阻礙因子を究明し、見えざる背奥の毀損因子(「油塵・排熱・汚損」)の廃絶化と徹底化により「安全と環境」最第一のアセット・マネジメントに寄与し、3K(快適性・環境性・経済性)の確立化に邁進していきたい!!ハイメンテナンスの有無こそが「生命の躍動」と「設備の健全化」の秘鑰だから。

また困難な現実の中から学習し鍛錬してきた独創性をいえば、排気ダクト(潜在的火薬庫)に火災誘発因子(オイルミスト)を流入させない超高性能「グリスフィルター」の開発にとどまらず、建物全体の給排気を如何に円滑化するかという危機管理のソフトパワーを基軸に、独自の「無償保証制度」を完備してきた事だ。即ち、ダクトにオイルミストが蓄積した場合、即クワイアにし、安全性と防災性を保全する曾てなき唯一の「ダクト清掃無償保証制度」を確立し実行してきた事だ。又、更にいえば差別的な特殊技能による「給排気保全ソフト力」を日々、実験更新し、更に研究し挑戦している事だ。

従って90年の創立以来、排気ファン・排気ダクトに起因する「火災誘発因子」を徹底的に根絶化する高度な「安全性・防災性・経済性」の保証制度を確立し、給気排気の「Almighty doctor of Facilities」に挑戦している。その結果、厨房ダクト火災は毎年平均、東京消防庁管内だけで年間「150」件前後も発生しているにも拘らず、現契約ビルは安全性・経済性・防災性・快適性を「100%」維持している「Only one」companyだ。従って、更に一意専心し、見えざる潜在的危険因子を除去するハイスキンを、不断に改善し、設備の背奥の暗部に潜在する、隠れた危険因子、更に「消耗劣化と摩耗毀損」の異分子を徹底的に除去し、保全更新する「環境再生の循環型静脈産業」の一翼を担していきたい!!

就中、卓越した厨房環境の実現のために、換気概念を根本的に創造革新した独創的「ventilation」即ち最少法定風量のみで換気を充足し、然も従来の余剰風量を30%強も削減するという傑出した超熱捕集率ventilation(DRV)を実現化し、建物自体の設備費(IC)「給排気・ダクト・ファン・ポンプ」と「エネルギー」の維持費(RC)をも抜本的に節減する超革新的VE(Value Engineering)を確立した事だ。

即ちCO²削減は地球規模の人类的課題であるにも拘らず、現行Kitchenは過剰苛烈な「熱量の海」と化して、止めどなき「エネルギーの過大放出」を宿命づけられている!!故にこのエネルギー流出の状況を幾百万分の1でも削減すべく、従来の必要風量の「30%OFF」で、従来型を遥かに凌駕しゆく「超熱捕集率ventilation」を開発するに至った。この傑出性によって、遂に「高換気・少風量・少電力」という給排気システムの宿命的背理が解消し、更に又「CO²・消費電力」の大幅削減が実現化した!!願わくば、低炭素社会(LCS:Low Carbon Society)の要請に、些少でも貢献できれば幸甚この上ない!!